

22年度予算案、衆院通過

宮本徹議員が反対討論「コロナ対策不十分」

2022年4月22日衆院本会議

維新の会、有志の会は反対しました。

由生義とアーヴィングスを継承していると指摘。年金削減も75歳以上の高齢者の医療費2倍化を進める一方、

衆院を通過しました。日本共産党、立憲民主党、日本

は反対討論で、最大の課題である新型コロナウイルスから国民の命と暮らしを守る対策がまったく不十分だと批判。感染が原因で亡くなる人が急増し、入院できる



2022年4月22日衆院本会議
反対討論に立つ宮本徹議員

検査も受けられない事態が生まれているとして、公立・公的病院などの急性期病床削減をやめ、3回目ワクチン接種を急ぎ、職員の検査頻度をあける必要があると主張しました。事業復活支援金を持続化給付金プラス家賃支援給付金などに拡充するよう求めました。

また、在日米軍のコロナ対策の検査に大穴があったにもかかわらず、日米両政府のやりとりのメールも、日米合同委員会の議事録も明らかにしていないと批判。「これは國民の命と暮らししがれないと指摘し、地位協定を改定し、日本の検疫法を米軍にも適用するよう要求しました。

正を求めていました。

さうした

予算案が実質的に敵基地攻撃能力の保有を進めていることは断じて許されないと主張。岸田文雄首相が敵基地攻撃能力の検討を否定せず、岸信夫防衛相が他国の領空で空爆することも自衛の範囲として「排除しない」と明言した

ことは、「憲法上許されないのは明白だ」と厳しく批判。憲法の条に基づつて平和外交に真剣に取り組むよう求めました。

同日の本会議では所得税法等改定案、地方税法改定案、地方交付税法改定案が数で可決。日本共産党、立憲民主党などは反対しました。

宮本氏は、予算案は新目

た。